

今後の注目株「プレミアム洗車」の提案

「純水機・快洗RO」(10月中旬発売予定)によってより高効率・高品質を実現

新車の50%がコーティングを施工

約10年前に快洗隊・刈谷店がオープンし、極上洗車洗車と銘打った高品質の洗車洗車がスタートした。その時の洗車洗車は、基本的な工程は継承されて、現在でも快洗隊のメイン商品として提供されている。のみならず、このマニュアルは十年間の数々の研修を通じて三万人以上に伝達され、数多くのSSの中に活かされている。

塗装色の変化が洗車の品質重視を促す

一方、快洗隊においても「ベシッ」な商品である「手洗い洗車」についてはどうだろうか。私たちが提唱してきた手洗い洗車は、あくまでも品質を求め、洗車からコーティングなど高付加価値商品へのエスカレーションを誘導するものとして、広くSSの中に一つのスタンダードとして定着し、なお広がりをみせている。しかし、この10年間のうちに、コーターの嗜好と車のアフターマーケットを取り巻く情勢が大きく変化した。

新車・中古車の国内販売台数が長期に低迷する中で、カーディーラーはオイル交換、車検整備などを新車販売時にセット販売し、さらに、長期保証のコーティングを新車販売に加え、アフターマーケット確保の戦略を練り上げた。その結果、現在では新車販売数の50%に長期保証コーティングが施工されるまでになり、ある右油販売会社のアンケートでは街を走っている車の27%がすでに施工済みであるという。それらの車が手洗い洗車を多く求めるようになっていく。

手洗いが増加

数年前、快洗隊における手洗い洗車は、撥水手洗いが80%で水手洗いは20%に過ぎなかったが、今では、撥水手洗いが40%、水手洗いが60%まで変化してきている。新車での長期コーティングの施工が「水手洗い」増加の要因であることは間違いない。しかし、ディーラーによるコーティングの拡販が、車に何らかのコーティングをすることを一般の人に普及促進したことも事実で、その証拠に、手軽にかけられるキーパーコーティングの台数は今また上昇傾向にあるし、

品質を追求するの

洗車をどこまでやるか、どの部分にまで、どの程度まで手を加えるか。快洗隊を志す者の中で、いつも抱えていた悩みである。それはキーパーコーティングにおいて同じで、どの部分まで、どこまでやるかは、と抱えてきたテーマである。

「純水」によって作業時間を大幅削減

そこで考えたのが「手洗い洗車を「レモニー手洗い洗車」と「プレミアム手洗い洗車」に分けることだ。レギュラー洗車は、基本的な作業を、同じ価格帯のプレミアム洗車は、細かい部分にまで作業を加えて完璧な仕上がりを提供する。そしてそれなりの価格帯を設定する。

こうしようとしたのは、現在開発中で、来月には量産に入る「純水機・快洗RO」の完成が一つのきっかけになった。純水は、水道の中に含まれているミネラル分(Ca、Mgなど)を最新の技術で99%取り除いたもので、ボディ塗装の上で乾いてしまっても全くシミにならないし、タオルで拭き上げたのと同じような仕上がりになる。洗車の最後の工程で純水をかけてやると、拭き上げずに、放って置いて乾燥させても全くかまわない。

コーターの満足が私たちのやりがい

これによって、一番ベシッなメニュー、極上洗車洗車のレバレート6000円/1人時から、純水・レギュラー手洗い洗車8000円/1人時(快洗Wing使用時)10000円/1人時、純水・プレミアム手洗い洗車8500円/1人時(快洗Wing使用時)10500円/1人時)と、ここまで引き上げた。従来の極上洗車洗車は、決して低すぎるレバレートではなかったが、手洗い洗車の商品単体ではそれほどビジネス性が低いわけではなく、品質の高い手洗い洗車を提供することで、コーティングを誘引して、採算性の確保を狙ったものだ。しかし、一番売れるベシッな商品が取れるビジネスにしたい。今、この厳しい経営環境の中で高いビジネス性を確保することは出来ないと判断した。

そして、何よりもコーター、特に、より細かいキレイさと、高い美的感性を持ったコーターが高い次元で満足し、喜ぶようにしたい。コーターの満足と喜びを提供することが、スタッフ全員が洗車というビジネスにプライドを持って取り組むことができる唯一の方法と信じる。

プロの洗車をもっともっと世の中へ

KeenPre TIMES

キーパータイムズ 9月15日 64号

発行所 アイ・タック技研株式会社

住所:愛知県大府市吉川町4-17
電話 0562-45-5258
FAX 0562-45-5268

ホームページ <http://www.sensya.com>
札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 広島 福岡

発行部数18,000枚
製作社 有限会社 GMKワークス
無断コピー・複製を禁ず
ご質問・ご意見・お問い合わせは
<http://www.sensya.com>
又は 0120-517-158 まで

プレミアム手洗い洗車の工程

(運行段階の仮マニュアル)
作業工程には、作業効率と作業時間の短縮、よりキレイにするために、道具と、特にケミカルをフル活用している。

- まず、4本のホイールに「アイアンタイター(ライトも可)」をかけて行く。これは本来のチオグリコール酸アンモニウム塩なので作業中は臭いが、我慢する。
- 同時に、タイヤハウス内にホイールクリーナーをかけて行く。同時に、ホイールの汚れに油污れが混じっている場合は、ホイールにもついでにホイールクリーナーをかけて行く。
- ピッチが着いている場合は、この段階で「タイリムナー」をかけて行き、漬け置きをしておく。
- ボディ全体を水スプレー。特にインセクトをかけたところはきちんと水スプレーする。インセクトが若干の泡を出すので、ちよつとした見た目の効果でも
- ムースを車全体にかけ、これは、今使われている通常のパウリースペース。シャワー効果も狙って少し多めにかけた。
- ボディ全体をタッチアップしていく(下回りのタッチアップは行わない)。
- 「純水」を、ボディ全体に満遍なくかける。約1分間、フロント(ハッチ)の隙間にも必ず純水を入れる。
- 同時の作業として、タイヤハウス内、外から見えない部分にコンサベーションワックスを塗り、艶を出す。これは意外と効果的で、下回りの防錆ワックス施工の販売につながっている。
- ワイパー周り、ドアノブ、ドアミラー周りに限って、エアガンを使い、水を追い出す。
- 窓ガラスを下ろして、上部をタオルで拭き取る。フロントガラスなどは必要に応じて拭き上げる。
- 同時の作業として、ドアを開けて、ヒンジ、スレップを軽く水を拭き取り、専用クリーナーで仕上げる。ボンネット・トランクなども開けて水を拭き上げる。
- 9/15の作業中にボディ全体にかかっている「純水」が乾いて、拭き上げた状態と同じになっている。ただ、エアガンで追い出したワイパー周り、ドアノブ周り・モールには水道水が多少飛び散っているので、その部分を軽く拭いておく。
- 全体を見回して、乾ききっていない純水、その他の作業漏れを確認し、仕上げる。
- 文字で書く17段階にもなり、大変面倒な作業であるように思えるが、同時に作業がいくつあり、また、ケミカルをフル活用しているため、文章から感じるよりも楽な作業である。この作業をトレンセンで快洗隊スタッフが実践してみても、25分は出来た。しかし、これはまだ試行段階であって、もっと改良する点が多々あることも間違いない。
- 本格的に快洗隊店舗で展開するのは10月になる予定だ。そして、快洗隊での実践を通して、よもやまの「プレミアム」を練り上げた。最も効果的で、最も品質の高いプレミアム洗車を皆さんに発表できるのは、11月になると思える。実践としての研修、訓練がトレンセン出来るのも11月以降。しかし、快洗隊の手洗い洗車を実践している人たちに、マニキュアと道具とケミカルがあれば、誰でも出来る内容としたい。純水を使用しなくても、プラス5〜8分あれば出来るだろう。しかし、「塗装面を極力こすらない」という純水のコンセプトは、間違いなく、これからの時代にはマッチしたヒット商品になると予感している。何とか、年末の大洗車商戦に間に合わせたいと奮闘中である。

